

福山・笠岡地域公共交通活性化協議会 第8回協議会 会議録（要旨）

1 日 時

2019年（平成31年）1月10日（木）13:30～15:00

2 場 所

福山市役所本庁舎6階 60会議室

3 出席者

(1) 委員（19名）

井上矩之委員，渡邊一成委員，大谷琢磨委員，高橋文子委員，和田秀俊委員，平野勲委員，丹呉允委員（代理 石田剛史），山田和孝委員（代理 山香賢治），渡邊寛人委員（代理 毛村正章），田淵博雄委員（代理 森兼寿支），神原昌弘委員（代理 寺岡清和），吉本伸久委員，久保聡志委員（代理 内田貴博），村上亨委員（代理 岡森正人），山田康文委員（代理 後藤宏暢）
岡本哲典委員（代理 畑中稔），上田隆博委員（代理 武田和史），井本憲吾委員，柴崎和義委員

(2) 事務局（7名）

福山市 住吉課長，栞原次長，高村主事
笠岡市 河田課長，高田係長，川崎主事

(3) 傍聴者（4名）

(4) 随行者（1名）

4 会議の成立

委員26名中，代理出席を含め19名出席で，委員の過半数が出席しているため，福山・笠岡地域公共交通活性化協議会規約第7条第2項の規定により会議が成立

5 議事

- (1) 再編実施計画の策定に向けた取組状況
- (2) 総合時刻表の作成に向けた取組状況
- (3) 2018年度（平成30年度）事業評価

6 資料

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・福山・笠岡地域公共交通再編実施計画 骨子
- ・福山・笠岡地域公共交通 総合時刻表
- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（再編計画策定に係る事業）
- ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（計画推進に係る事業）

7 協議内容

(1) 会長挨拶

皆様こんにちは。本協議会の取り組みにご尽力いただきましてありがとうございます。本日もどうかよろしく願いいたします。

(2) 議事

①再編実施計画の策定に向けた取組状況

事務局：資料により説明。

副会長：「笠岡・福山買物ライナー(仮称)の新設及び周辺路線の再編」について、現在実証実験を行っているという状況かと思うんですが、実験結果はどうなっているのかを少し教えていただくとありがたいのですが、お願いします。

事務局：昨年12月1日から実証運行を始めておりまして、12月1日から30日間の乗車状況についてご報告いたします。笠岡駅を出発し、伊勢丘六丁目までの乗車人数が136名、逆に伊勢丘六丁目から笠岡駅前までの乗車人員につきましては103人、延べ239人のご利用があります。1日あたり約8人の利用でございます。最初ということもありませんが、有効性はあるものという思いは持っております。

会長：グリーンスローモビリティについてもお願いします。

事務局：鞆地区でグリーンスローモビリティの実験を行いました。これにつきましては11月16日から11月29日までの約2週間走行いたしました。乗車人数につきましては、バスの補完と位置づけて実施いたしましたものが、その間で369人という利用でございました。観光客への支援交通として利用されました内容は702名ということで、1,071人のご利用があったところでございます。今後福山市におきましては新年度以降、本格運行に向けて協議を重ね、早いうちに実施できればと考えています。

会長：それでは再編実施計画についてはこのような方向でまとめて良いか、ご承認をお願いします。異議なしの方は挙手をお願いします。

<挙手多数>

会長：ありがとうございます。挙手多数で承認いただきました。

②総合時刻表の作成に向けた取組状況について

事務局：資料により説明。

制作業者：総合時刻表の構成デザイン案について説明。

委員：これの配布時期、配布先、配布方法をもう1回教えてください。

事務局：4月1日以降ではございますが、公共交通マップと同様に警察の関係、市役所の支所、それから観光に係わる所の観光情報センター、そういった所に実際に事務局の方で配布に回らせていただきたいと思いますと考えております。

委員：一般家庭には新聞折り込みなんかで配布、というのはないんですね。

事務局：はい。申し訳ございません。新聞折り込みにつきましては経費の関係から難しいも

のでございまして。関係する部署に事務局から持参して配置をするという方向で考えております。

委員：今からはインターネットもある。

副会長：少し補足します。今の公共交通マップは人が特に集まるような所に置かせてもらって、利用される方には手に取って持ってもらう、というスタイルで配布しており、これも同じような形ということ。また、内容についてはホームページでも情報が取れるようにはしたいと思っております。

委員：こういったものの配布は今回初めてですか。

事務局：前回はいわゆる経路図を示した図面を作りました。これに対応した時刻がわかるように、ということが狙いです。配布場所もこの地図と一緒に見ていただけるようにしたいということです。

会長：2万部ですね。4月1日発行でしたかね。

事務局：作成日付は4月1日を予定しております。実質の配布はそれ以降になります。

会長：4月1日はダイヤの改正が多いような気がしますけど、それは勿論ちゃんと入りますよね。

事務局：はい。

委員：危惧するのは、JRは半年に1回くらいは時刻変更があったりするんで、すぐにそれが対応になるかどうかということ。

会長：JRさんの時刻表は毎年新しいのが出ますね。

それからさっきおっしゃったインターネットで閲覧できるというのは、同じものをインターネットで見ることができるということで、自分でプリントアウトできるんですね。それは当然データは変えることができますね。

事務局：はい、それは変えることができます。物理的な印刷物を発行し直す、というのは難しいですが、インターネット用のものにつきましては適宜修正したいと思います。

委員：現時点でバス会社さん、旅客船の会社さんで変更予定はないんですか。

事務局：それは制作業者の方で各会社にヒアリングをしまして情報収集に努めておられます。4月1日現在で最新の時刻表で作成をすることができるように考えております。

会長：サービスを受ける人のリクエストを出来るだけ叶えるように考えていただければと思います。

委員：実際の大きさは、これを半分に折ったようなものですか。

制作業者：折った形でA5サイズになります。

委員：時刻表とこの路線図が対比するような形で掲載されるんですね。

制作業者：はい、そういうイメージで考えております。ある程度方面によっては複数の路線をまとめて掲載することも出てくるかもしれませんが、基本的には今あるものも使っただきながら総合時刻表としてもそれに対応したものが見られるということで、このマップとも合わせて、それぞれ組み合わせ使用できるように整合を図りながら作っていきたいと思っております。

委員：個別の路線図ですが、全体的にどこに行きたいとかがわかるような図面などは入る予定ですか。

制作業者：マップ自体に図面・地図が付いておりますので、基本的にはマップとセットで使っていただくというイメージで考えております。

委員：「北部方面はここ」，「こっこの方面はここを見てください」というものがあればありがたいと思うんですけど。

事務局：概略図につきましては，時刻表の方にも簡単な図面を入れるということにしております。昨年度実施いたしました公共交通マップとの併用ということでの利用を想定しておりますので，マップとの整合性がとれた時刻表として考えておりますので，よろしく願いいたします。

会長：それでは，総合時刻表については現時点の内容を承認してよろしゅうございますか。異議の無い方は挙手をお願いします。

<挙手多数>

会長：ありがとうございました。挙手多数で承認ということにさせていただきます。

③2018年度の事業評価について

事務局：資料により説明。

委員：再編計画の策定の方ですが，実証実験が，福山・笠岡間の実証実験と福山市内まわローズの実証実験の2つ挙がっていると思うんですけど，福山・笠岡間の方については今実際行っているということで，今ニーズ把握を行っているということになっていて，もう1つの方のまわローズはまだこれからされるという段階だと思うんですが，既に結果を見込んだような内容になっているので，この実証実験でニーズの把握を行っていく，というような書き方で良いのではないかと思うのですが。

事務局：ありがとうございます。報道等にこのまわローズの実証実験の内容が出ましたところ，市民の方，井原市にお住まいの方等に様々な期待される意見をいただきました。この実験が期待される場所も大きい，というような思いを持ちましたので，こういうふうに書かせていただいた所でございます。1月現在での書き方に，先ほど指摘をいただきました通り直して提出させていただきたいと思います。

会長：これはいつ提出されるんですか。

事務局：1月15日です。

会長：それではこの事業評価，現時点でこういう内容で報告させていただくということでもよろしゅうございますか。異議なし，という方は挙手をお願いします。

<挙手多数>

会長：はい，挙手多数ということで，ありがとうございます。

(3) その他

委員：こんなせっかく良いマップを作られるので，外国人対応というか，外国語表記を今後の検討課題として考えていただければと思います。

会長：今後の検討，ということですね。他にいかがでしょうか。

副会長：主に福山部会の方にお問い合わせがあるのですが，先程，まわローズの実証実験の話があ

りました。今日の新聞紙上でご承知の通り、2月11日にイトーヨーカドーが閉店します。その前に実証実験を始めないと、閉店した後に実証実験やってもあまり意味がなさそうなので、実証実験に向けた最終確認の書面を至急送らせていただく予定になっております。かなり短期間でのご確認になると思うんですが、ご対応の程よろしく願いいたします。

委員：中国バスでございます。平素より弊社の運行に関しまして、皆様のご協力をいただきまして、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

弊社は、この2、3年かなり経営が苦しくなっており、この11月、大幅な減便をしております。この大幅な減便に伴って、また利用者に差があり、負のスパイラルにはまりつつあるところがございます。本日承認いただいた計画の中で、例えばこの再編実施計画ですが、必ずしも私共で運営が実施できるものとお約束できるものではないということをご理解いただきたいと思います。

公共交通事業者として日々努力はしておりますが、計画が縮小の方向になる可能性があるということは十分ご理解いただきたいと思いますということで、お話しをさせていただきます。

会長：ありがとうございます。福山市・笠岡市のどの地域に住む人も、地域・年代・職業・性別等によって差を受けないように、一人一人に最低限の公共交通のサービスはあるように目指していきたいと私は思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員の皆様には、円滑な議事運営にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。それでは、進行を事務局へお返しします。

事務局：会長、大変ありがとうございました。

本日ご承認いただきましたとおり、公共交通網形成計画で定められた基本方針に則り、計画事業、再編実施計画の策定に取り組んでまいります。今後も、皆様のお力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第8回福山・笠岡地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。

以上